

2018 尾張 J P 若葉教育リーグ要項 Ver1.0

- 主催 特定非営利活動法人 尾張 J P スポーツ
- 後援 中日新聞社
- 目的 青少年の健全な精神と身体の育成、及びルール・マナー技術の向上に寄与し親善交流を深める と共に少年野球を通じて全てが教育の一環になる事を目的とする。
- 参加資格 **小学5年生以下の男子、6年生以下の女子でスポーツ保険等加入者に限る。**
- 開会式 3月18日 9時開始 犬山緑地B面 (3月25日予備日)
- 会期 **3月4日(日) ~ 10月28日(日)まで**とし、各ブロックにてリーグ戦を行う。
- 参加費 5,000円 (尾張 J P スポーツ総会時に徴収)
- 試合
1. 試合時間は1時間30分7回戦(1時間30分を過ぎたら新しいイニングに入らない)としコールドゲームはなし。同点の場合は引き分け。
 2. 教育的指導で時間を要した場合は、ロスタイムを取る。ただし、次の試合に支障のない場合のみ。
 3. 試合中において不適当な場面が生じた場合は速やかに指導する。(ポーク等は指導のみとするが攻撃側が不利を生じた場合はノーカウントとしてランナーを元の位置に戻す)
 4. 投手は最初の投球練習は7球、各イニングごとの投球練習は3球とする。
 5. 試合途中の降雨等で続行不可となった場合4回をもって試合成立とする。
 6. **ホームスチールは怪我等防止のため禁止する。**
- ルール 全日本軟式野球連盟公認規則に準ずる。
■投手一人の投球制限は1試合7イニングまでとする(途中交代時も1イニング投球となる)
- 審判 主審は、対戦相手に対して前期5~7月は若番、後期8月~10月は後番が行う事を原則とする。(審判員も選手共々育成を前提に行います、積極的に参加願います・4審判が望ましい)
- 表彰 各ブロック優勝・準優勝に賞状
ポイント数にて順位決定(勝ちポイント3、引き分けポイント1、負けポイント0)最終同ポイントの場合対象相手チームとの勝敗を優先する。
- その他
- ①審判員は、審判としてふさわしい服装で臨むこと。
 - ②使用球はケンコーボールC号とし、各チーム試合ごとに2個提出。
 - ③出場チームは試合開始30分前に集合すること。
 - ④代表者・スコアラー以外はユニフォーム着用。(ベンチ入り5名)
 - ⑤シートノックは各チーム5分以内とする、但し試合運営上シートノックなしで試合を開始する場合がある。
 - ⑥ベンチは組み合わせの若番を一塁側とする。
 - ⑦各グラウンドルールは試合前両チーム、審判員の三者協議で必ず確認し、他は審判員の指示に従う。
 - ⑧試合中の言動、審判の判定、ファウルボールの処理、応援などは少年野球らしく節度ある態度をお願いします。
 - ⑨**試合前投球練習時もキャッチャーは、必ずマスクを着用すること。**
 - ⑩試合終了後のグラウンド整備は両チーム協力して行う。
 - ⑪グラウンド設営は、両チーム協力して準備し、遊具、サッカーゴール等ラインを引き危険回避する。
 - ⑫試合運営上、日程その他については各チーム協力し合って行う。
 - ⑬試合は日程表を基に双方で協議の上実施し**勝者は当日中にHPから結果報告する。**
 - ⑭各チーム、グラウンド整備及びベンチ内清掃に留意すること。
 - ⑮選手の競技中疾病及び障害については、各チームの責任において応急処置等行う。
 - ⑯試合中ベンチ内での携帯電話、グラウンド内でのたばこ一切禁止。即退場していただきます。
 - ⑰ランナーコーチもヘルメットを着帽する事。
 - ⑱低学年が出場する場合、選手の起用をはじめ、選手の体調管理は、チームの責任において十分注意を払うこと。